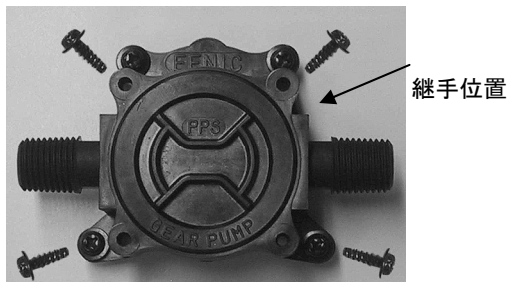
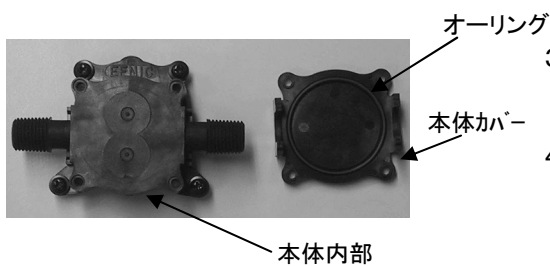
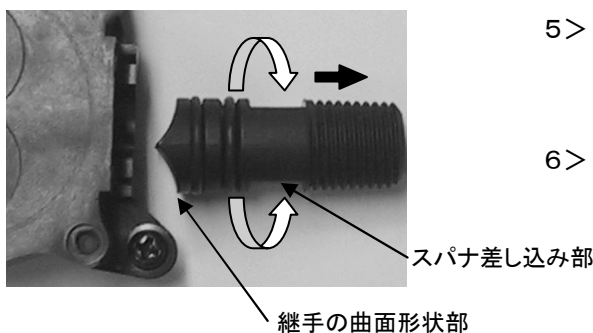
【「継手」・「本体カバー」の交換方法、取扱説明書】

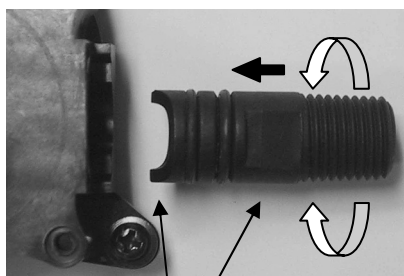
★画像

1＞ 「ギヤポンプ本体」に固定されている、4本のネジを取り外してください。

2＞ 左図は、ネジを取り外した状態です。

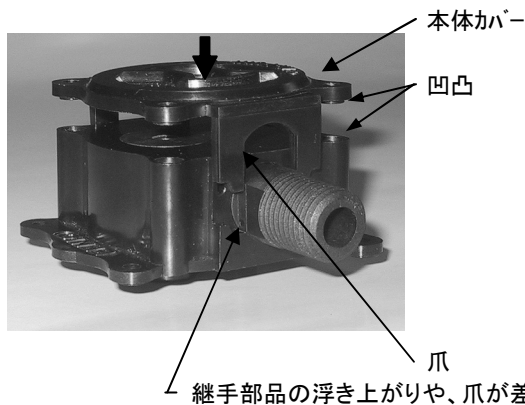
注意：継手と本体カバーの爪部分の関係を確認しておいて下さい。
特に、継手とカバー爪の位置を確認して下さい。
正常な位置関係まで差し込まれれば、左図の様になります。（部品形状によりセットされます）

3＞ ネジを外した後に、「本体カバー」を取り外します。ギヤポンプ内部については、調整・試験済みですので、絶対に分解しないでください。

4＞ 本体カバーに組み付けられているオーリングを、交換する「本体カバー」に移し替えてください。
（新カバーにオーリングが組み付けてある場合は予備として保管ください。）

注意：オーリングが無い場合、漏れが生じます。

5＞ 継手を交換する場合は、左図の状態にて差し込まれていますので、左右に回転することにより、継手部品の曲面形状により、引き出し方向に継手が動きます。

6＞ 継手が使用状態により抜け難い(回転しない)場合には、スパナ差し込み箇所に薄厚スパナを入れて回転させると、継手が少し抜き出てきます。

7＞ 交換する「継手」部品を元の位置に差し込んでください。始めに、左図の位置にて、差し込むと容易になります。

注意：オーリングにグリースをつけておくことを推奨します。

8＞ オーリングがありますので、表面を損傷しない様にゆっくりと回転しながら差し込んでください。
継手の曲面形状により、継手部品が浮き上がったり沈んだりします。
正常位置は、★印の画像（一番上の画像）です。

9＞ 正常位置にある事を確認の上、「本体カバー」の爪を継手に差し込みながら、組み込んでください。
この爪が、継手の固定機能をしております。

注意：本体カバー内側のオーリング位置を確認して下さい。
本体カバー四隅にある凹凸を正確に合わせて下さい。

10＞ 交換が終了した後は、耐圧試験を推奨いたします。
交換後は、各所からの漏れが生じてないか、充分に確認をして下さい。

継手部品の浮き上がりや、爪が差し込まれる面カット部位置(回転・挿入)を十分に確認下さい。

『継手の種類』

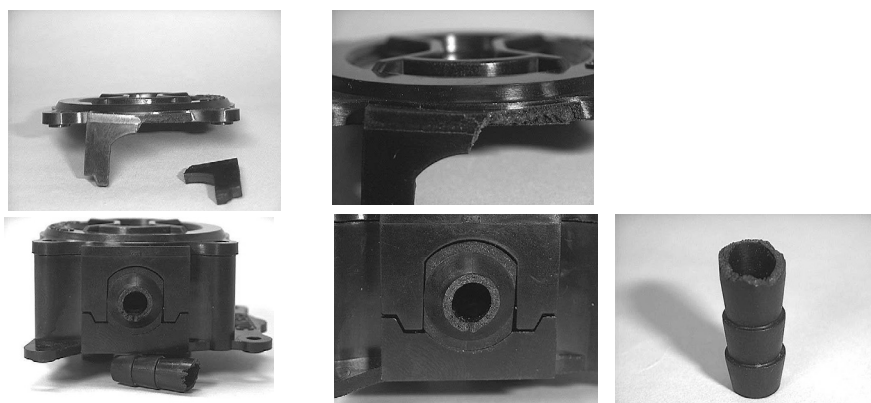
継手は左図の通り3種類あります。交換の方法は何れも同じです。

○φ6mmホース用ニップル継手

○φ10mmホース用ニップル継手

○R1/4インチー雄ネジ込み継手

※φ6mmホース用ニップル継手は細いため
組み込み難い場合があります。
その際、無理に押し込まず、オーリングにグリースをつけ、薄厚スパナを使用し、ゆっくり回転しながら差し込んで下さい。

『破損例』 本体カバー、継手の取扱いには十分ご注意下さい。

テックワールド株式会社
お問合せ先・修理返送先： 流体事業部・茂原工場
〒299-4105 千葉県茂原市弓渡 1168
TEL:0475-34-8279 FAX:0475-34-8279
本社:埼玉県川口市
E-mail: info-tw@tecworld-co.com URL：http://www.tecworld-co.com